



問 部活動の外部指導者を活用しては

答 十分に検討し、配置について進めたい

学校教育における最重要課題は、子どもたち一人ひとりに確かな学力を身につけさせることであり、そのための授業改善であると考えますが。

問 教育長が目指す教育とは。

教育長 学校教育を通して、子どもたちに確かな学力、豊かな心、健やかな体を養い、国際社会に対応できる個性や創造性に富んだ児童・生徒の育成を目指している。

問 今後、力を入れたい事は。

教育長 時間を有効に使って、読書をする事を勧めていきたい。

問 本町教員の1日平均の労働時間は。

教育次長 教職員一人ひとりの実際の勤務時間は把握していな

いが、授業の準備や部活動等で、かなりの時間を超過して勤務をしている状況です。

問 教職員の精神疾患の予防のためのストレスチェック制度の導入、実施はしているか。

教育次長 50人未満の事業所はストレスチェックの実施が努力義務とされています。現在のところは実施していません。

問 夏休み中に空調が設置されました。今後、教員の負担軽減も含め、夏休みを短縮する考えは。

教育次長 学校、地域、近隣自治体の状況も踏まえ検討していきたい。

問 部活動の外部指導者を活用しては。

教育次長 人材を確保するのが大きな課題である。単に技術力だけではなく、人間性等を総合的に判断する必要がある、十分に検討した上で、配置について進めたい。



中学校の部活動の様子

問 非行防止対策の取り組みについて。

教育次長 町が委嘱している青少年相談員が、町のイベント等の際に啓発活動を実施している。

問 大井川新知事とどういった学校教育における連携をしているのか。

町長 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進を県教育委員会と連携を図りながら、教育の更なる充実に取り組みたい。



小学校の授業風景